

特集

Withコロナ時代の災害対応 これからの 災害保健活動を考える

各自治体や地域の保健師は、これまでも受援を見越した
災害への体制構築を図ってきていますが、
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行を受け、
新興（再興）感染症流行時の対応も加味した
新たな災害体制を構築する必要があります。
そこで本特集では、With コロナ時代における新たな
災害対応や受援体制、災害保健活動について、
COVID-19 流行中に起こった静岡県熱海市の土石流災害の
事例を含めて紹介し、課題やポイントを考えます。

- 新興感染症流行下における災害保健活動の在り方
健康危機管理における保健師の役割
- 被災時に必要な感染症対策とは
COVID-19 への対応を踏まえた対策と対応のポイント
- IHEATの仕組みとその活用について
- COVID-19 対応を踏まえた災害保健活動の事例
熱海市伊豆山土石流災害における
災害保健活動の概要とポイント
- [インタビュー] COVID-19 対応を踏まえた
災害保健活動の事例 熱海市伊豆山土石流災害
における保健所保健師の支援活動
- [インタビュー] 熱海市伊豆山土石流災害での
災害保健活動の事例① 発災直後から避難所対
策中心の時期における市保健師の活動
- [インタビュー] 熱海市伊豆山土石流災害での
災害保健活動の事例② 復旧・復興対策期にお
ける市保健師の活動 地域支え合いセンターを
中心に